

平成22年度 第3回 鳥取市総合企画委員会（議事概要）

- 日 時 平成22年9月2日（水）10時00分～12時00分
- 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 全員協議会室
- 出席委員 壹岐文彦、池原範雄、尾崎直美、下石義忠、近藤儀徳、佐々木紀久子、徳中由美子、西村陽子、福島明、福山裕正、藤沼康実、細井和江、道上正規、森原昌人、吉弘憲介（15名）（五十音順、敬称略）
- 欠席委員 徳田昌子、西村賀代、藤縄匡伸、水野由久、森本幸子、（5名）（五十音順、敬称略）
- 鳥取市 市長、副市長ほか各部長（監）、行財政改革課（事務局）

1. 開会（田中行財政改革課長）

2. 市長あいさつ

<要旨>

- 大変記録的な猛暑が続いている中で、今年度は第9次総合計画策定という大事な年であり、委員長はじめ委員の皆様のご協力ご支援を頂きながら計画づくりを進めている。本日は、基本構想（案）と基本計画（素案）の説明をさせて頂き、お気付きの点に積極的なご意見を頂きたいと思っている。
- 第9次総合計画には、6つのリーディングプロジェクトを定め、基本計画の中に具体的に盛り込んでいこうとしている。「リーディングプロジェクト」という言葉でよいのかどうかなど、市民の方にわかりやすい言葉使いについてもご提案頂きたい。
- 第9次総合計画策定にあたっては、鳥取市自治連合会、市民まちづくりワークショップ、地域審議会などからご意見を頂いている。また、10月にはパブリックコメントを実施する予定であり、幅広い市民の声をお聞きすることも続けていきたい。
- 10月15日（金）に高木美保さんをお迎えして、リニューアルした市民会館でまちづくりフォーラムを開催する。「自然が教えてくれた人間力」という演題であるが、鳥取市での暮らしがどのように評価し得るのかということも念頭にご講演頂く予定である。また、「魅力ある鳥取市の将来」というテーマで、委員長にもご参加頂きパネルディスカッションも予定している。第9次総合計画の概要紹介も考えているので、お知り合いにもお声掛けの上、ご出席頂けたら幸いである。
- 9月3日（金）より9月市議会が開催されるので、雇用創造や若者定住といった緊急の課題など、今後の鳥取市の取組みに関して強力な施策が推進できるようにしていきたい。

○今回の審議は、今後に繋がる中間的な山場なので何卒よろしく願います。

3. 委員長あいさつ

<要旨>

- 第3回の総合企画委員会にご参加頂き、御礼申し上げます。
- 今回は、まず基本構想について議論し、次に基本計画に移り具体的な内容を考えていきたい。市町村においては、総合計画策定は法律で必置条件であり、どの市町村でも策定される。市長のマニフェストと合わせながら、10年先を見通しつつ5年間で取り組むべきことを盛り込んでいく。鳥取市としては、様々な市民生活がある中で網羅的に施策を展開しなければならないが、重点的に取り組むリーディングプロジェクトも考えなければならない。
- 市長より猛暑の話がでたが、温暖化が進んでおり、千代川流域圏会議では温暖化に伴う気候変動などについて議論・検討している。ゲリラ豪雨が起きた場合、中小河川および下水が大きな影響を受ける。災害については「安全・安心なまちづくり」に謳われているが、気候変動の与える影響という視点も取り入れていきたい。
- 皆様から忌憚のないご意見を頂き、この計画が将来、地域の発展に繋がることを願う。

4. 議事（進行：委員長）

（1）第9次鳥取市総合計画基本構想（案）について

事務局より説明（国森行財政改革課参事）

- 資料確認
- 基本構想（案）の変更点
第2回総合企画委員会で説明したが、一部文言の追加・訂正を行った。

【資料2】

- ・ P 1 計画の役割について。総合計画は継続性を持っているため、合併時策定した新市まちづくり計画、第8次総合計画をふまえた計画であることを明記した。
 - ・ P 2 計画の進行管理について。PDCAサイクルの概念を記載した。
 - ・ P 1 2 体系図を記載し、基本計画と繋がるようわかりやすくした。
 - ・ P 1 3 第5章 第2節に計画推進における基本方針を持ち上げてきた。
 - ・ 第6章に記載していた本市の位置や地勢などを、資料編として省いている。
 - ・ P 1 7 土地利用の考え方について。基本計画に記載している事項も多くあったので、概要のみを記載し、基本計画に関わる部分は基本構想から省いた。
 - ・ 人口の見通し、財政の見通しについては現在調整中である。
- 基本構想は、前回の「素案」から「案」としている。本日の協議を受けて10月にパブリックコメントにかけ、市民の皆様からご意見を頂きながら正案として固めていきたい。前回の素案から大きく変わった点はなく、文言の追加、ページの構成の変更を行った。

○基本構想（案）の概要確認

第1章 計画の主旨として、時代の潮流など背景を踏まえた上で、市民の皆様の意見を伺いながら策定する。

第2章 計画の役割として、新市まちづくり計画、第8次総合計画を踏まえるということと、基本構想の期間は平成32年度までの10年間と長期展望に立ったものである。

(1)～(3)については、市民、行政、国・県への対応を記載している。

計画の構成と期間は、基本構想については期間10年間、まちづくりの理念として「人を大切にすまち」を掲げ、将来像「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」としている。基本計画は、具体的な施策の内容を網羅するものになるが、計画期間は5年間とし、実施計画を前期と後期に分け、平成25年に見直しを行う。

計画の進行管理については、成果重視ということで目標設定を行い、PDCAサイクルの中で成果を確認しながら計画を実行していく。

第3章 人口見通し、長期財政の見通しについては作成中である。

第4章 社会情勢を記述している。また、昨年行った市民アンケートの結果を踏まえて、総合計画を策定したいということで結果を載せている。雇用、高齢者・少子化対策、中心市街地活性化などが求められている。

P12に体系図にて、まちづくりの目標5、政策13、施策28を載せている。それらを支えるものとして、下に3つの基本方針を書いている。右にはリーディングプロジェクトとして6項目を掲げており、素案時は5項目だったが、「中山間地域の暮らしを支えるプロジェクト」を追加している。リーディングプロジェクトについては、どの施策からも取り上げるので単なる横並びでない点をご認識頂きたい。

第5章 P13以降に、計画を推進する基本方針、まちづくりの目標とそれに繋がる政策を掲げている。この部分は、基本計画に繋がるものであり、政策に関わる施策については基本計画にて記載している。

第5章 P17からは土地利用の方針等として、住宅地、商業・業務地、流通業務地について、P18は自然的土地利用として、農用地、森林、自然公園について記載している。

<質疑・応答>

○委員長

確認も含めて事務局より説明頂いた。第9次総合計画の中に、基本構想、基本計画がある。基本構想は10年間を見通したものの、基本計画はそれを実施するためのものであり、5年の計画期間である。将来像を「まちがきらめき 人が輝く 快適・環境都市 鳥取」とし、理念として「人を大切にすまち」と掲げている。この理念を達成するために5つのまちづくりの目標が挙げられている。これらを具体にするために、基本構想の中で政策が位置付けられているということである。今日は基本構想の正案を固めていきたい。

皆様からご意見頂きたいが、まずは委員の事前意見書についてはどうか。

○委員（事前意見書）

・第6章について。基本構想（素案）の方は「未来をはかる」のみだったが、今回は土地利用の方針と前章とは違う感じがする。「未来をはかる土地利用の方針」と繋げてはどうか。

・第1章「特例市」についての用語説明がほしい。

・P3表

～ 人口
() 割合

 と統一してはどうか。

・P8 7. 情報通信の高度化について

携帯からアクセスできるアドレスについては、市報等で告知していることなどを注意書きしておいた方がよい。

○国森行財政改革課参事

・「未来をはかる」部分については、位置や地勢など本市の状況を示したものであり、資料編ということで基本構想からは外している。人口の見通しなどについては、基本構想の重要な部分になるので第3章へ盛り込んでいる。

・特例市については、人口が20万人以上の都市が要件であるということなど用語説明をつけようと考えている。

・社会潮流の最初のテーマである「人口減少と少子高齢化の一層の進展」部分で、それを表すグラフへの指摘であるので、今後修正をかけたい。

・アドレス等については、すでに取り組んでいる部分もあるが、本市のホームページについての説明を回答書にて回答させて頂いている。

○委員長

ひとまず基本構想部分の意見書について確認頂いた。完成した報告書には、市のホームページアドレスは載せる予定か。

○国森行財政改革課参事

載せる予定である。

○委員長

それならば、アクセスしようという意欲のある人は確認できるだろう。その他の資料について、基本構想の部分に関わるものはないか。

○国森行財政改革課参事

資料5～7については各自ご確認頂きたいと思っており、必要な部分はすでに基本計画等にも入れ込んでいる。最終的には、10月にパブリックコメントを行うので対応を報告しようと考えている。

○委員長

委員の皆様からお気付きの点はないか。私が受けた印象は、基本構想部分はわかりやすく簡略にしてあると思う。P3表の人口の表記については、単位を万単位にするなどわかりやすくした方がいいのではないか。このあたりは、後ほどきちんと整えられるだろう。

○委員

基本構想の全体を通しての文章について、誰が読むことを想定しているのか。市職員が計画を進めるためなのか、市民に読んで頂きたいのか判断ができない。

P D C A サイクルについて、計画の進行管理は誰が行うのかが明記されていない。

急がれる地域経済の活性化について、10年間の計画であることを踏まえると、10年後にこの文章を読むと違和感を感じるのではないか。

「リーディングプロジェクト」という言葉の意味が、ぱっと見て理解できない。

○国森行財政改革課参事

総合計画は、行政も市民と一緒に進めるという意味でも、ぜひともできるだけ多くの市民の皆様にご覧頂きたいと考えている。

○委員

そうであれば、もう少し文章を考えた方がいいのではないか。

「行政としてこうします」なのか、「市民と一緒にこうしましょう」なのかが明確でない。区別があいまいで、行政がするんだから市民は任せておけばいいと思ってしまう部分が多くある。特に「安全・安心なまちづくり」において、自助・共助の部分はみんなが協力しなければいけないのに、行政が頑張りますと取れる。

○委員長

計画の役割と期間が記載されているが、この計画では、市民にとって、行政にとって、国・県に対しての位置付けが明記されている。市民だけ、行政だけで出来るものではない。「安全・安心のまちづくり」の部分で、表現が弱いということなので工夫するようにしよう。事務局としてはどうか。

○羽場総務部長

基本構想は、行政・市民といった垣根を越えたようなつくりかたをしている。鳥取市としてこの総合計画に取組もうということで、行政も市民も含めた「鳥取市」全体というイメージでつくりあげていることをご理解頂きたい。文章的にわかりにくい部分は見直していく予定であるが、最終的には議会で議決をもらい、市全体が一丸となって取組むものとしてつくりあげたい。

○委員長

災害やごみの部分については、「市民一人ひとりが」とあるように、個人が何に取組むのかということをもう少し明確にするべきではないか。行政がすることは当然たくさんあるが、この計画では個人も無関心ではいられないようにするべきだということなので、

そのあたりも考えていきたい。

○委員

まちづくりの理念や将来像についてはある程度抽象的で構わないが、6つ挙げられているまちづくりの目標は賛同するすばらしい言葉ではあるものの、市民にとっては抽象的でわかりにくいのではないか。例えば、「ふるさとを愛し 次代を担うひとづくり」は、「ふるさとを愛し」の部分は政策・施策で出てくるので、「次代を担うひとづくり」でよいのではないか。「笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり」も「安全・安心なまちづくり」で福祉医療や防災が含まれていると思う。市民がわかる言葉に直して頂けたらと思う。

また、リーディングプロジェクトにも関わってくるが、「緑あふれる日本一のふるさとづくり」で、自然環境や伝統文化を守ろうということだが、鳥取は自然環境豊かなことが売りであるので、自然保護はもちろんだが、豊かな自然環境を生かした地域づくりとして、一歩前に出た目標や政策を立てた方がよいのではないか。もう一歩進んで10年後を見据えた方がよいと思う。

冒頭で委員長がおっしゃった「安心・安全なまちづくり」は、大変重要なことだと思う。互いに協力し暮らしの安全を守るため、地域防災力の充実など挙げられているが、今後、防災関係は重要になるので、もうワンランク上げてもいいのかなと感じた。

○委員長

事務局としても苦心の作だと思うが、皆様の意見はどうか。

○委員

以前の方がシンプルだった。

○委員長

委員会の意見を盛り込んで、事務局としても一生懸命考えて頂いたのだろう。違和感があるということなら、また戻すことも考えなければいけないかもしれない。

格調高いものではなく、市民にとってわかりやすいメッセージがいいと思う。

○委員

全体をあらわす言葉としては、ふんわりと夢があってこれでいいのではないか。

○委員

私は鳥取に来てまだ2年なので疎いが、第9次総合計画の前の第8次総合計画がどうであったのか、その結果をどのように生かしたのかということをもう少し丁寧に書いた方がいいのではないか。

○委員長

第8次総合計画のどこが一番生かされているかといったら、将来像「ひとが輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」が受け継がれている。

○委員

巻末に付属資料として、第8次総合計画の結果などを簡単に記載すると、第9次総合計画が生きてくるのではないか。第2章に書かれているが、噛み砕いたものがほしいなど感じた。

○委員長

第8次総合計画は今年度いっぱい計画期間である。その評価はどこで行うのか。

○田中行財政改革課長

毎年この委員会で、進行管理として評価をして頂いている。

○委員長

委員は変わっているかもしれないが、第8次総合計画がどれほど進捗したかはこの委員会が責任を持ってチェックするので、委員の皆様はよくわかっているはずである。その前提で事務局も作成している。一般市民には、なかなかわかりにくいかもしれないが、市長が3期目となるので、将来像も以前から市長が強く言われていることである。

○委員

この第9次総合計画が冊子で出る時に、第8次総合計画がどのようなものであったのか付録であれば非常にわかりやすい。別個の資料として出てきたのでは意味を持たない。

○委員長

進捗状況はどのタイミングで出すのか。

○田中行財政改革課長

決算に基づいて第8次総合計画の進捗と、指標に対する結果をこの委員会で示し、タイムラグは生じるが、平成23年度の総合企画委員会で総括して頂く。委員がおっしゃったような第8次総合計画の総括を踏まえた上で、第9次はこうだということはスケジュール上難しい。毎年の進捗管理と社会潮流を踏まえて、構想を練って頂いていると理解している。

○委員長

第8次総合計画の結果が生かされているが、時間的に顕なかたちで評価されたものが出るというわけにはいかないということだな。別途、公表はあるのか。

○田中行財政改革課長

総合企画委員会の審議の結果ということで、ホームページに毎回載せているので確認頂ける。

○委員長

委員の皆様には、このようなことをある程度認識した上でこの委員会で議論してほしい。

○委員

第8次総合計画策定時は市町村合併で大きな鳥取市となったが、合併からある程度経ち、第9次総合計画の策定となる。新たな鳥取市の魅力がたくさん出てきたと思うが、そのあたりが見えてこない。「まちづくり」という言葉も、旧市をイメージしがちであるので、合併した新市地域についても触れて頂けたらと思う。

○委員長

そのあたりは「中山間地域の暮らしを支える」ということで出てきているのではないか。中山間地域というのは、新市をイメージして入れているのだと思う。

○委員

最初目にした時は読みにくかったが、案の段階になって抵抗なく読むことができた。字体も柔らかい感じであるし、用語についても説明があるので、一般市民として読みやすくなったなど感じる。読めばわかるのだが、まず「読む」という段階へ行き着くかというのが一番肝心であると思う。どれだけ多くの人に読んで頂けるのかというのが問題である。私もこの委員会に関わっていなければ、目にすることもなかったと感じる。アドレスについても意見したが、どこで見ることができるのかが常にわかる状態がほしいと思う。

○委員長

市民に関心を示してもらえるかどうかは非常に難問である。インターネットは使用されない人もいるが、市報で告知され各家庭に配布される。

○羽場総務部長

委員長がおっしゃったとおり、いろんな媒体を使ってPRを行う。出来上がった暁には、持ち帰って頂けるようなパンフレット形式のものなどを作り、一緒に取組んで行こうというPRをさせて頂こうと考えている。

○委員長

問題はどうしたらみんなが見るか。見たほうが得になる、生きがいを感じる事が出来るなど、これを読むことで感じてもらえたらよい。どうしたら読んでもらえるかというアイデアがあれば事務局までどうぞ。

○委員

自治会や区長なども話を聞かれているので、総会などで集まった時に地域住民の方に概要を配布したり、簡単な説明をすると興味を持って頂けるのではないか。少人数の場合、PRするのがいいのかなと思う。

○委員長

公民館長や区長などを集めた状態で議論して、その方々が一般の方に広めていくというような、市民に浸透するPRをしてほしい。基本構想で、いいものであっても市民が関心を示さなければ意味がないので、そうならないようにするために、いろんな取組みを考えているという点を書いてはどうか。

○委員

少子高齢化、人口減少が背景にある中で、人口増加は現実的には難しい。これからは、交流人口を増やそうというひとつの目標が立てられるのではないか。どこかに盛り込ん

であると思うが、政策の中にはっきり「交流」という文言がほしいと思う。

○国森行財政改革課参事

基本構想P17に、政策4として「環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする」という視点を入れている。また基本計画でも、関連した部分が出てくる。

○委員

人口減少時代の中で、交流人口を増やすことが鳥取市の大きな施策だと思う。「交流を盛んにする」ではなく、「交流人口を増やす」という言葉をはっきりと入れた方がいいのではないか。

○委員長

言わんとすることは書いてあるが、入れるようなら上手く取り入れてもらえれば。

○国森行財政改革課参事

施策で、移住定住ということで考えている。

○委員長

人口減少を食い止め、人口を増やすことが課題だが、本当の意味で人口を増やすことはできないと思う。できないことを目標として書いてもしかたない。「交流人口を増やす」ということであれば、知恵を出すことで実現できるし、経済活性化にも繋がる。交流人口増加に重点を置いて書いてはどうかという意見なので、数値目標として掲げてもやっていけると思う。

○委員

企業誘致と交流人口増加の2本柱を最優先で議論してはどうか。優先項目の組み立ても議論してほしいなという気持ちがある。

○委員長

リーディングプロジェクトの中では、雇用・人口増加についてはどこに含んで書いてあるのか。

○国森行財政改革課参事

雇用については、体系図を見て頂くと、まちづくりの目標「人・モノ・情報が行きかい、にぎわうまちづくり」において、政策「国内外に躍進する競争力のある産業をつくる」の中で施策として「雇用創出・環境の充実」を挙げている。それにぶら下がる具体的な内容も基本計画で取り上げている。

○委員長

リーディングプロジェクトとしては、どこに入ってくるのか。

○国森行財政改革課参事

資料3のP22、「若者の夢がかなうまちプロジェクト」で、雇用の創造などを重点的に取り組む事業として挙げている。

○委員

素案はよくできているが、はっきりとした記述があればさらによくなると思った。

○委員長

雇用の問題は非常に大事である。企業誘致も大事であるが、簡単にできることではない。私は企業誘致だけが雇用の場ではなく、地場産業を活性化することが重要だと思う。連携がわかりやすいようにしてくださいということなので検討願いたい。基本構想は、皆様の意見をもう一度確認し、鳥取らしさを出して市民に読んでもらえるような方向性を謳ってほしい。また、他人事にしないように市民が取組むんだということなどメリハリをつけてほしい。

○国森行財政改革課参事

委員よりご質問のあった進行管理について、最終的にはこの委員会で進行管理をして頂くが、内部としては各課あるいは各部で行政評価に取り組んでおり、進行管理を行う。鳥取市行財政改革市民委員会を設置しており、市の仕事の外部評価を行って進行管理を進めていきたい。リーディングプロジェクトについては、基本計画の部分で説明したいと思うが、5年間本市の事業として重点的に取組むよう掲げるものである。市の方針を先導していくという意味を含めて、「リーディングプロジェクト」と考えている。

(2) 基本計画（素案）について

事務局より説明（国森行財政改革課参事）

- 基本計画については、23～27年度の5年間に取組む具体的な施策とその内容を網羅したものである。今日は資料を分けているが、基本構想から基本計画に繋げてひとつの冊子として作成する。
- 基本計画で取り上げる施策とその内容
見開き1ページがそれぞれ施策の内容を網羅したものであり、構成としては、はじめに現状と課題、次にめざす方向、それ以降に施策の主な内容として取組む内容を掲げている。基本計画に掲げた施策と主な内容については、各課あるいは各部が今後5年間に取組むものとして挙げたものである。その中でも、特に基本理念や将来像を実現に向けて重点的に取組むものを、リーディングプロジェクトとして6つに分けて記載している。基本計画については、通常の事務的なもの、維持管理的なものは掲げていない。
- リーディングプロジェクトについて
基本計画の最初に6つ掲げており、特に重点的に取組むものである。基本計画で挙げた取組みのうち、特に重点的に取組むものはリーディングプロジェクトの方へ引き出して再掲している。
「ふるさとを大切に作る心豊かな人づくりプロジェクト」は、地域で活躍するリーダーを養成する人づくりをめざすものである。主な内容として、「ふるさとを思い、志を持つ子を育む教育の推進」として3項目、「地域で活躍する人材の育成と支援」として3項目

掲げている。

「健康で安心な暮らしづくりプロジェクト」では、取組み項目としては「健康づくりと医療」、「災害に強いまちづくり」の2項目を挙げている。内容については、子育て体制の支援や地域医療の充実、健康づくりの推進、がん健診などに目を向けている。災害については、自助・共助、市民の災害対応力の向上、災害に強いまちづくりの推進などを挙げている。

「若者の夢がかなうまちプロジェクト」では、若者の育成と定住をめざすものとして、雇用関係を重点的に行っていく。また若者が外に流れないように、若者の文化、コミュニティ強化、婚活、環境大学の法人化など、若者が住みやすい魅力あるまちづくりを進めるものである。

「自然環境や伝統文化を守る快適なとっとりライフプロジェクト」では、自然との共生ができる住みやすいまちづくりを目指している。特に鳥取砂丘の再生、湖山池の浄化、全国緑化フェアへの取組み、ごみの減量化に目を向けていきたい。また、とっとりライフということで、グリーンツーリズム、UIJターンの促進、地域の伝統文化の継承を進めていきたい。

「打って出る大作戦プロジェクト」では、産業の活性化、鳥取市を売り込み知名度を上げることを目標に取組みたい。関西圏や山陽圏、また環日本海諸国との交流促進や情報交換、観光面の魅力アップなどに取組むこととしている。

「中山間地域の暮らしを支えるプロジェクト」では、地場産業の活性化、安心安全な暮らしの確保、担い手づくりに目を向けて中山間地域の活性化を図るものである。

○計画推進における基本方針

①自立と協働、②行政経営の基盤強化、③都市間連携の強化を挙げている。①は市民の協働の推進とそれぞれの自立、②は財政面の基盤強化、組織強化として行財政改革の視点を入れている。③は広域連携の考え方を入れて、1市4町の東部広域の連携、姫路・岡山との連携、姉妹都市との連携を考えている。

○P35に施策の展開ということで、5つのまちづくりの目標に付随する政策、政策に付随する施策の一覧を載せている。今後、まちづくりの目標に沿って、現状と課題を踏まえ、めざす方向、主な施策の内容など、具体的にどういった取組みをするのかということとをそれぞれ記載し、基本計画の構成としている。

○本日、素案として初めて出すものなのでご議論願いたい。

<質疑・応答>

○委員長

さきほどの議論とも関連するが、「若者の夢がかなうまちプロジェクト」で、雇用創造の戦略的な展開など挙げられているが、私は一番上に書いてある成長産業の推進による雇用創造が大事だと思う。この部分に、企業誘致の問題や地場産業の強化ということをも

もう少し強く入れて欲しい。市民アンケートでも、優先すべき施策として雇用・勤労福祉対策が挙げられている。

○委員

成長産業への投資を謳っている自治体は少なくないが、鳥取市と同じ取組みをしている他都市との差別化が求められる。どのくらい投資環境が整っているのかなどという点で評価されるので、そこを底上げするようにしないと選ばれない。選ばれる為にはどのような計画をつくるのかという視点で考えて頂きたい。

○委員

全体的に非常に読みにくい。P 19にリーディングプロジェクトとしてリード1～6が記載しており、P 20を見ると「ふるさとを思い、志を持つ子を育む教育の推進」(P 38)とあるので、P 38を見るが何と対応しているのかがわかりにくい。よく見るとリード1と書いてあり、P 19のリード1と対応していることに気付くまでに時間がかかった。「リード」という表現がいいのかどうかも含めての提案だが、統一のマークか何かを作って対応させるのがいいのではないか。リーディングプロジェクトは最初にまとめて書いてもらったほうが市民としては読みやすい。体系が何度も出てくるのを避ける為に今の記載になっているのはわかるが、重要であるはずのリーディングプロジェクトの位置がわかりにくい。工夫がかなり必要なのではないか。

○委員長

まちづくりの目標があり、政策、施策と繋がっており、その中で重点的に何項目か取組むものがリーディングプロジェクトということで、確かに書くのは難しい。まとめて書いて欲しいということで、重複をいとわずにということなので事務局で検討願いたい。

○田中行財政改革課長

現在のものは、まず基本計画の個別の事業があり、リーディングプロジェクトをまとめた構成になっている。委員のご意見は、リーディングプロジェクトの部分に施策の概要をまとめて書くということで、重複して再掲するのか、各施策の部分はリーディングプロジェクト参照とするのかどちらがよいか。

○委員長

重複して書いてもかまわない。

○委員

わかりやすいのはいいが、ページが増えると見るのが大変である。抜粋ということで多くの人に配布されることを考えると、P 20やP 38は省略したいという発想でつくられているのではないかと思う。細かい部分まで見て頂きたいが、そこまで見るエネルギーのある人は多くないので、多くの人に見て頂く為に苦労した結果が現状の構成であり、やむを得ないのではないか。

○委員

P 1 9に鳥取らしさを生かしたまちづくりとあるが、「鳥取らしさ」ということをもう少しわかりやすく説明頂くと、もう少し中身がよく理解できると思う。

○委員

リーディングプロジェクト5番目の「打って出る大作戦」は大変重要なことだと思う。鳥取自動車道の活用や、将来的に山陰道の鳥取－青谷間の開通もあるだろう。高速道路開通に伴うプラス面はもちろん伸ばしていかなければいけないが、マイナス面も出てきている。中山間地域プロジェクトとも関連してくるが、素通りされる地域の再生・活性化という視点も持ってほしい。

○委員

リーディングプロジェクト6番目の「中山間地域の暮らしを支えるプロジェクト」だが、冬季に雪が多く降る地域は除雪などにも困っている。災害などの面での文言も加えて頂きたい。

○委員長

リーディングプロジェクトは重点的なものを取り上げているのであって、施策においても様々な項目が組み込まれている。

○国森行財政改革課参事

委員長のおっしゃったとおり、リーディングプロジェクトは重点的に進めていくべきものを取り上げているので、災害についてもP 6 2に「地域防災力の充実」という項目で災害発生時の対策などについても掲げているのでご理解頂きたい。

○委員長

施策の方できちんとそれぞれの取組みを漏れがないようにつくり、その中で特徴的なものをリーディングで取り出すという2本立てになっている。リーディングに入っていないからしないというわけではないのでご理解頂きたいということ。

5. その他

スケジュール

○国森行財政改革課参事

基本構想および基本計画は、10月中にパブリックコメントにかけたいと思っている。そう考えると、今日配布した基本構想および基本計画について、9月17日を目途にご意見を頂きたいと思う。その後、9月中に修正をかけて幹部会を行い、10月上旬には総合企画委員会を開催する。その委員会でパブリックコメントにかける素案をご確認頂きたい。

10月から1ヶ月パブリックコメントにかけ、頂いたご意見について盛り込むものは盛

り込み、11月中に答申案を固め、12月中下旬には総合企画委員会から市長への第9次総合計画の答申をお願いしたい。

まとめ

○委員長

誰が主体であるか、市民に読んでもらうような工夫をお願いしたい。まちづくりの目標についてはいろんなご意見があったが、ひとまず現在のものを生かしてもらうとする。施策の部分は、中身については図表をわかりやすく、文言も市民が取組むべきところをきちんと伝えるなどいくつか修正をお願いしたい。基本計画の部分は、今日素案をもらった段階なので、ご意見があれば9月17日までに提出した上で10月上旬に委員会を開き、パブリックコメントに出せる原案をつくろうということ。

6. 閉会（田中行財政改革課長）

これもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。